

---

---

# 研究所だより

---

---

第343号  
2014年10月1日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3016

## < 1日教研・各地区の反省 >

### 1. 午前：講演について

#### 【西部地区】

- \* 具体的ですぐに活用できるような話でよかった。
- \* 参考になり、自分たちも楽しめた。
- \* とても分かりやすくよかった。

#### 【東部地区】

- \* 実際に支援していく方法を具体的に教具や教材を使って教えていただき、発達障がいの児童が（疑われる児童を含め）学校生活の中でいかに困っているか児童の側からの視点で見ることができた。
- \* 市内全体で共通理解を図ることができた。
- \* 教材を実際に使ってみたい。
- \* 特別支援の児童に対しての支援を実践や教具を取り入れて楽しくわかりやすく説明してもらってとても参考になった。また通常学級の児童にも十分に扱える内容なのでよかった。
- \* 講話内容、講師の質も高く満足するものであった。
- \* 自分達が実際にやってみることで実践してみようという意識が高まった。

#### 【半島地区】

- \* 特別支援学級だけでなく、全ての学級の児童の学習を助ける具体的な手立てや貴重な教材を紹介して頂き大変参考になった。何より「子どもが分からない」ではなく「教師ができる手立てを取ってやること」の大切さを再認識できた。
- \* 講師の方の話がとても良かった。作業活動もあり、楽しく話が聞けた。
- \* 分かりやすい教材や演習がとても勉強になった。
- \* 教材をたくさん準備してくれていたのととても分かりやすい話だった。すぐ実践に役立つ講演内容だった。
- \* 講演の中で演習があったのは良かった。
- \* 休み時間があると良かった。
- \* 質疑応答の時間がなくて残念だった。
- \* 色々な具体物をじっくり見る時間がなくて残念だった。

#### 【清水Ⅰ地区】

- \* 実践的な話であり良かった。
- \* 2学期の実践の参考になった。

#### 【清水Ⅱ地区】

- \* 大変具体的でわかりやすい、実践に応用できる内容であり、現職の教員としてわかりやすい内容だった、という意見が多数でした。

### 2. 午後：各部会について

#### 【西部地区】

- \* 各部会とも、充実した時間をもてた。

#### 【東部地区】

- \* 各部会とも、時間いっぱい熱心に研修することができた。

- \* 初めて試みるアートガラスの制作が楽しかった。（図工部会）
- \* 時間いっぱいいろいろな実験講習ができた。講師・内容も充実していた。（理科部会）
- \* 半日教研の指導案検討でしたが、いろいろな意見を出し合うことでより具体的な計画を立てることができた。
- \* テーマを絞って部員の報告を充実すれば会全体が深まるのではないかと感じた。人任せになりがちな研修、受け身的である。

#### 【半島地区】

- \* 講師の方が人権侵害の実態を分かりやすく話してくれたので課題が明確になり、部員がKJ法で自分の思いを話すことができ、とても有意義な会となった。（人権教育部会）
- \* 児童・生徒のスマホの使用状況などが聞けて良かった。（人権教育部会）
- \* 学校における簡単な実験方法が参考になった。（理科部会）
- \* 各学校で教材を持ち寄り、郡の発表に向けての指導案を検討し大変勉強になった。
- \* 実践交流ができて良かった。
- \* 土佐清水市の様子が分かって良かった。（社会科部会）

#### 【清水Ⅱ】

- \* 実践に基づいた情報交換や資料の提示などがあり、勉強になった。
- \* 体育部会は来年度場所を考えたい、という意見あり。
- \* 土佐清水市の歴史について知ることができ、有意義な会となった。（社会科部会）
- \* 授業でのICTの活用について学べた。
- \* 少人数で講師の先生とゆっくり話せてよい研修だった。（人権教育部会）

### 3. 来年度に向けて

#### —講師について—

#### 【西部地区】

- \* 今年度のような実践が聴ける先生。
- \* 情報の道具（ライン・メール・スマホなど）の危険性の話が聴ける先生。

#### 【東部地区】

- \* 本年度の講師の杉本 陽子先生のお話をさらに詳しく聴き、具体的な手法を学びたい。
- \* 高知大学 鹿嶋 真弓先生（学級作りや不登校児童への対応について）
- \* 英語活動について
- \* 斉藤 孝さん

#### 【清水Ⅰ】

- \* 高知大の臨床心理学の教授（准教授？）「不登校児への対応」

#### 【清水Ⅱ】

- \* なかまづくりや生徒指導について、実践経験に基づいて話ができる方をお願いしたい。
- 鹿嶋 真弓先生

#### 【半島地区】

- \* 福岡県で助産師をしている内田 美智子さん
- \* 宮崎県に大変面白い私塾（教師希望の先生が集まっているらしい）の先生がいるらしいが…。
- \* 教育とは関係のない有名な講師の話も聞いてみたい。

#### —その他—

- \* 講演内容によっては支援員さんの参加を検討してみてもどうか。
- \* これからの英語活動について研修したい。

## 4. その他

【西部地区・半島地区・清水Ⅱ地区】

\*なし

【清水Ⅰ】

\*開催時期が前後できないものか？

【東部地区】

\*小中連携の場として組織的に研修を行っていききたい。

### <教材作成>

池先生が講師の杉本先生が作製していた「かけざん九九のカードゲーム」の教材を作ってくれました。全部で8セットあります。また、ローマ字の教材も作製する予定です。利用される先生は研究所まで問い合わせ下さい。貸し出したします。

この教材は、カードでいろいろなゲームにチャレンジしながら、楽しく九九が学べます。活用するカードの組み合わせによって多様なゲームができるため、子ども達は飽きることなく繰り返しかけ算の学習に取り組めます。

○九九の唱え方を文字で見て確認できる。

○正しい唱え方を耳で聞いて確認できる。

○九九の意味を絵で見て確認できる。

○基準量のいくつ分と式の関係が確認できる。

○題意の読み取りに慣れる。

○立式の仕方に慣れる。

○暗唱練習・意味理解・文章題に数多く触れながら定着を図る。

感想文の中に杉本先生への質問がありました。

質問—改造されたリコーダーの音は変わりませんか？

答え—「改造リコーダー」はもともと手指欠損のお子さんのために開発された正規のリコーダーのようです。なので、小学校の音楽でみんなと同じように合奏する程度であれば音が変わることはありません。安心してお使いいただけるとと思います。

講演に対する感想が近年になくたくさん提出されていました。杉本先生に全て送りましたが、先生も大変喜んでおられ感謝の返事をいただきました。

先日は、温かいお手紙と先生方の感想をありがとうございました。多くの皆さんが感想を書いてくださったこと、私自身の励みにもなりました。本当に行って良かったです。教育長さん自らもゲームに参加してくださり（初めてのこと）、土佐清水市の先生方の優しや温かさに触れた研修でした。講師依頼してくださり、本当にありがとうございました。（後略）

たくさんの先生方が感想を提出してくれましたが、紙面の都合上、ごく一部で申し訳ないのですが掲載いたします。

### 【講演会感想】

高校の先生

・高校で教員をしています。現在1年生でLDの生徒の数学を担当しており、何かヒントがもらえればと思い今日は参加させてもらいました。小さい頃からの段階的な指導がどのように行われているかということも興味があり今日の講演はとても楽しかったです。文集題を指さしで読むというのは高校生でも十分な支援の方法だと思いました。やっていきたいと思います。今日はありがとうございました。

中学校の先生

・私は中学校教諭ですが、小学校の低学年の段階のことができない生徒もたくさんいます。少しでもたのしくわかりやすく教える、学ぶことは、学習において大切だと改めて気付きました。学習が苦手な生徒がわからないことをふり返って苦手を克服できるように今日教えていただいたような支援をしながらわかる喜びを感じさせたいと思いました。ありがとうございました。

・発達障害の児童・生徒だけでなく、全ての児童・生徒にとって「わかる」「できる」を実感させるためのアイデアをたくさん知ることができた。中学校の授業に直接取り入れることは難しいかも知れないが、視点は同じだと思うので授業のユニバーサル・デザイン化に努めたい。

・いちばんすごいなと思ったのは子どもの視点・心情に立った発想が豊富だと思った。特にしりとりゲームの言葉の創造力を高めるアイデアはいいなと思いました。自分は中学の英語ですが単語当てなどにグループ学習させてみようと思います。あと3ヶ所気をつけてがんばってください。

小学校の先生

・私は今年1年生の担任をしています。杉本先生のお話の中にもあったように、特定の文字がどうしても覚えられない子や拗音・促音がなかなか身に付かない子、数の概念が身に付かない子等、いろんな子がいます。そんな子どもたちと一緒に、1学期は日々悩みながら過ごしていきました。（思ったように学力を付けてあげることができなかったの）どうしたらこの子たちに学力を付けることができるのだろうと本当に悩みましたが（一人ひとり困難の背景も違うし理解するポイントも違うので）今日のお話の中にその悩みを解決するヒントがたくさんありました。本当に実り多い、有意義な時間をありがとうございました。2学期は、今日のお話の中からいくつか教材等を活用させて、できる・わかる授業をめざします。

・教材・教具がすばらしいと思いました！この教材・教具によって関心・意欲につながり学ぶことの楽しさにつながるということを体感できました。できない・わからないことが不安であり、やる気を失わせてしまうことにつながっていること、子どもたちにそういった思いをさせないためにも効果的な教材・教具を活用し、わかる・できる楽しい授業を行っていききたいと思います。是非今回教えていただいた教材を作って実践してみます。子どもの実態に合わせた細かい手立て、支援方法がたいへん勉強になりました。楽しい時間でした!!ありがとうございました。

・特別支援の児童はもちろんですが、通常学級の児童にも十分使える教材や指導方法を教えてもらって参考になりました。実際に2～3人のグループで教材を使っての実習をやることでその使い方にも慣れ、児童の気持ちが分かる手立てにもなりました。担当学年が今年2年生なので「九九」の教材を早速、インターネットで調べてみたいと思います。ありがとうございました。